学校番号	3033

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	１単位	年次	１年次	１単位
使用教科書	「高校生の音楽Ⅰ」　（教育芸術社）						
副教材等	ベートーヴェン「歓喜の歌」（ハンナ社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本格的な芸術作品に触れ、挑戦する機会を持ち、高校時代に芸術に対する素養を身につけることを、教科の課題としています。
「音楽って何だろう」自分自身や他者との対話や表現する体験を通して、音楽について考え、感性を磨いていってほしいと思います。
茨木高校音楽会に向けて、クラス合唱は、各クラスで選曲や指揮者・伴奏者を話し合いで決めて、練習スケジュールを立てて、クラス代表やパートリーダーを中心に、生徒が主体となって進めていきます。自分たちの目標を設定し授業に取り組んでいく中で、音楽を通してリーダーシップやフォロワーシップの経験を積み、主体性や協調性を身につけることが目標です。
本格的な芸術作品については、毎年ベートーヴェンの『第九』に取り組んでいます。高校生がクラシック音楽の最高峰とされる難曲『第九』を、原曲の調性、ドイツ語で演奏することは、文字通り「挑戦」と言える課題ですが、２年間かけて勉強していきたいと考えています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽の表現方法や形式について理解を深めると共に、意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽作品の良さや美しさ，表現の意図と創意工夫，歴史的背景などについて考え，価値意識をもって音楽や音楽文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に音楽の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，音楽文化について親しみ，豊かな感性を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1年前期		【歌唱】 ・声の出る仕組みについて ・発声法 ・校歌 ・交響曲第九番「合唱付」より第4楽章(ベートーヴェン)前半部分 ・イタリア語歌唱	a:声楽の発声について、基本的な身体の使い方や息の使い方を理解している。 a:声楽の基本的な奏法を理解し、他者との調和を意識しながら演奏する技術を身に付けている。 a：学校の歴史や校歌の内容について理解している。 b: 声楽の演奏や合唱に関する知識や技能を得たり意識したりしながら、その関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を工夫している。 c: 曲想と声楽の音色や奏法との関わりについて理解したり、発声や、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に歌唱で表現する学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
		【鑑賞】 オペラ音楽	a:オペラ音楽の歴史や文化的背景について理解している。 b:鑑賞を通して、知覚したことと感受したこととの関わりについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴いたりしている。 c: オペラ音楽の歴史や文化的背景について理解し、そのよさを味わいながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

一年後期		【歌唱】 ～音楽会に向けて～ ・クラス合唱（混声4部） クラスごとに課題曲1曲・自由曲1曲を決定 ・交響曲第九番「合唱付」より第4楽章（ベートーヴェン） 後半部分 ～音楽会～ 「第九」演奏 クラス合唱演奏 鑑賞（他者の演奏を聴く）	a:声楽の発声について、基本的な身体の使い方や息の使い方を理解している。 a: 声楽の基本的な奏法を理解し、他者との調和を意識しながら演奏する技術を身に付けている。 b: 声楽の演奏や合唱に関する知識や技能を得たり意識したりしながら、その関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を工夫している。 c: 曲想と声楽の音色や奏法との関わりについて理解したり、発声や、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に歌唱で表現する学習活動に取り組もうとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス課題 ワークシート	ワークシート パフォーマンス課題 ワークシート	授業観察 ワークシート ワークシート
		【歌唱】 ・声の出る仕組みについて ・発声法 ・校歌 ・交響曲第九番「合唱付」より第4楽章（ベートーヴェン） 前半部分 ・イタリア語歌唱	a:声楽の発声について、基本的な身体の使い方や息の使い方を理解している。 a:声楽の基本的な奏法を理解し、他者との調和を意識しながら演奏する技術を身に付けている。 a：学校の歴史や校歌の内容について理解している。 b: 声楽の演奏や合唱に関する知識や技能を得たり意識したりしながら、その関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を工夫している。 c: 曲想と声楽の音色や奏法との関わりについて理解したり、発声や、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に歌唱で表現する学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度